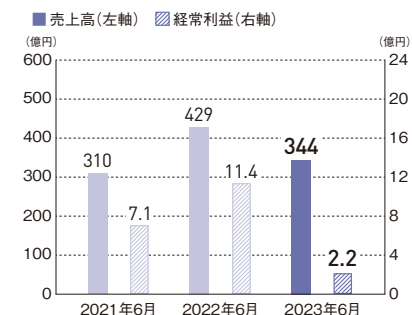




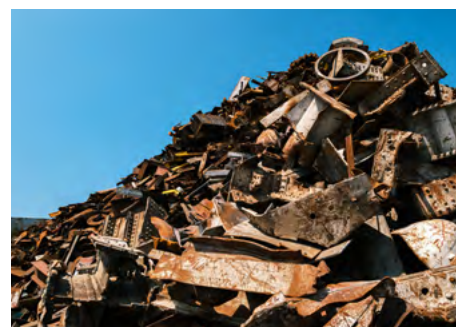
## グローバルトレーディング事業

カーボンニュートラルの実現に向けた動きが国内外で活発化しています。エンビプログループでは、リサイクル資源を需要国に最適な方法で届けています。今後、鉄・非鉄金属は取扱量を増やし、新規商材にも挑戦することで、サーキュラーエコノミーを世界に拡大していきます。



### 製鋼原料である鉄スクラップの国内外販売

天然資源の乏しい日本において、鉄スクラップは重要なリサイクル資源です。世界の脱炭素化の潮流により、CO<sub>2</sub>排出量の多い鉄鉱石やコークスなどを使用する高炉を用いた製鋼方法と比べ、CO<sub>2</sub>排出量が少ないとされる鉄スクラップを溶かして製鋼する電炉の増設が計画されており、今後ますます鉄スクラップの需要は高まると推測されます。(株)NEWSCONでは、鉄スクラップを顧客のニーズに沿った品質管理を行った上で、国内外の鉄鋼メーカー(高炉・電炉)へ販売しています。



鉄スクラップ

ベトナムをはじめ、東南・南西アジアの鉄鋼需要拡大に伴い、日本国内の集荷拠点を新設・拡大し、集荷量を増大させています。これまでの品質管理、納入体制を評価され、長期契約等の継続した取引も行っています。また輸送に対する物流方法も多様化する中で、バルク船(大型船、小型船)、コンテナ輸送も、積極的に活用することで、鉄鋼資源をグローバルに販売しています。

### 非鉄金属スクラップの加工・供給

当社グループ、および国内の資源循環企業によって選別された各種非鉄金属スクラップを、国内ヤードも活用して集荷し、国内外の顧客ニーズに合わせて加工・供給しています。また、2023年8月に営業を開始したオランダ支店を起点とした、欧州・アジア間を主とした輸出



アルミシュレッダースクラップ

入・三国間取引を行っていきます。これらを通じ、海外ネットワークと、リサイクル資源のグローバルな循環を拡大し、世界的な低炭素社会への動きに積極的に取り組んでいます。

### 古紙・古着・ゴム等のリサイクル商材の国際流通

古紙(製紙原料)や、古着(リユース商材)を海外に輸出しています。古紙に関しては、新潟市と佐賀県伊万里市に専用倉庫を構えており、小ロットからのきめ細かな輸出サービスを提供しています。

2022年度からは廃プラスチックの他に、新たに再生ゴム原料の取り扱いも開始しており、ゴムチューブの輸入販売、および未加硫ゴムの国内外への販売を行っています。



古紙



古着



ゴムチューブ



PETフレーク

### 新規事業の推進と新商材の発掘

「リサイクル」をキーワードに新規商材の発掘、全国のパートナー様との新規事業の開発に取り組んでいます。バイオマス発電所用の燃料であるPKS(Palm Kernel Shell)や木質ペレットの取り扱いノウハウを有する他、処理が困難なスクラップ等も積極的に取り組んでいます。

## 海外拠点インタビュー

世界を舞台に新しいビジネスを創造する(株)NEWSCONが、2023年8月、オランダ支店の営業を開始しました。従来からの海外拠点であるベトナム駐在所、イギリス駐在所を含めた3拠点代表者からメッセージをお届けします。



オランダ支店

### Interview 01 オランダ支店

(株)NEWSCONは世界中でリサイクル活動を拡大しています。最近、欧州のリサイクラーと協力し、現在もその連携を継続中です。2023年8月にはロッテルダムにNEWSCON Netherlandsを設立し、欧州でのリサイクリングパートナーとの距離を縮めました。当社の73年以上にわたるリサイクルの専門知識とアジア全域での強力な顧客関係を活かし、私たちは欧州における信頼性の高い再利用可能な原材料のパートナーを目指しています。デジタル変革と電気自動車の普及に伴い、電子廃棄物、バッテリーおよび金属のリサイクルへの需要が増加しており、これに立ち向かう覚悟があります。私たちの使命は、パートナーとの協働により、リサイクルの専門知識と革新的サポートを受け、欧州での再利用物の循環を拡大することです。このカーボンニュートラルな社会への旅路を、ぜひ私たちと共に歩んでいきましょう。

オランダ支店 支店長  
グローバル事業推進室  
室長  
リサイクル原料部  
副部長  
ジョージ・ハリス

### Interview 02 ベトナム駐在所

ベトナムでは2022年から新たな環境法が制定されるなど急速に環境に関する法律や仕組みが整備され、企業もこれらの目標達成に向けて真摯に取り組み始めています。今こそ日本で培ったリサイクルのノウハウや技術がベトナムに必要とされていると感じています。環境が変化する中、ベトナムを日本の資源循環の終点として捉えるのではなく、新たに環境事業を起こす出発点として捉えています。今後は現地の企業との協業を進めて一層ベトナムに根付いていきたいと考えています。

ベトナム駐在所 所長  
今林 伸支

### Interview 03 イギリス駐在所

イギリスの駐在所では、NEWSCONが取り扱う非鉄金属、貴金属を含むミックスメタル、および電子基板の集荷・販売のサポートを行っています。また、トレーディング事業だけでなく、欧州の環境政策、リサイクル技術、リサイクル事業モデル、さらに脱炭素に関係する様々な情報を収集・分析し、発信しています。欧州のリサイクル事業者や環境関連企業との協業を目指し、中・長期的な事業戦略を実行に移すべく進めています。

イギリス駐在所 所長  
立花 忍

## 新会社サイテラス始動

2022年9月、中古自動車・パーツのリユース事業を行う(株)3WMより物流代行事業を承継する(株)サイテラスを設立しました。新会社の鈴木社長に話を聞きました。



当社は2022年9月にグループ会社である3WMより分社化し、物流専門会社として設立され、翌年2023年1月より事業を開始いたしました。取扱貨物としては、業界を問わず輸出入全般ですが、中でも中古車や中古パーツを始めとしたリユース製品の輸出の物流手配を多く手掛けており、中東のドバイやアフリカなど世界中に貨物をお届けしております。



その中で当社は“One Stop Logistics Service”を掲げ、通関・輸出諸手続きからコンテナのブッキング・陸送手配・搬入ヤードでの車両管理、コンテナバンニングまですべてを一括代行しています。車両や部品の輸出においては、長年の豊富な経験から最適な輸送手段を手配し、希望港まで最短・最安でお届けします。そして当社ならではの日本と世界をくまなく網羅するネットワークサービスでお客様の希望と気持ちを大切に、海の向こうのお客様の元へ確実にお届けしております。

特に冒頭で説明させていただいた中古車・中古パーツ等のリユース業界のお客様に対して専用プランをご用意し、当社ではお客様の置かれている環境に合わせ、最適なサービスを提供させていただくことによって、数多くのお客様から高い評価を頂いております。

その他にも2023年7月より横浜税関より通関業の免許を取得し、自社通関も開始しております。これにより業務の幅を広げることができるのはもちろんのこと、お客様の声をダイレクトに事業に反映させることが可能となり、より一層サービスの向上が図れるようになったと考えております。

最後に今後の展望としまして、2024年中にUAEにドバイ支店の立ち上げを予定しております。ドバイはアジアとアフリカ、ヨーロッパを結ぶハブ港としての機能があり、日本からの貨物の輸入手続きおよび第三国への再輸出手続きにとどまらず、世界中から集まる貨物の手配を手掛けていく計画であります。

(株)サイテラス 代表取締役社長  
鈴木 健朗

